

求職者支援訓練コース案内

【7月開講】 【実践コース】

【基礎から学ぶJava+Pythonプログラマー養成科】



訓練コース番号 5-07-40-002-02-0093 訓練実施機関名 株式会社キャリアプログラム

訓練期間	令和7年7月23日(水) ～ 令和8年1月22日(木)		土日祝日の訓練の有無	有	土曜日の訓練(全6回) ※キャリアコンサルティング (1時間/人)のみ実施
訓練時間	10時10分 ～ 16時50分				
訓練対象者の条件	特になし				
定員	22名	受講申込者が定員の半数に満たない場合は、訓練が中止となる場合があります。			
求職者支援訓練 申込方法	①住所を管轄するハローワークにて就職相談を受けてください。 ②訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要事項を記入の上、募集期間内にハローワークで受講申込手続きを行ってください。 ③ハローワークで受付された受講申込書を「受講申込書提出場所」へ持参または郵送により、提出ください。				
募集期間	令和7年5月23日(金) ～ 令和7年6月19日(木) (注)				
	(注) 受講申込みをするためには、ハローワークで複数回の相談を行うことが条件になります。このため、 6 月 18 日 (水) までにハローワークで初回の相談を行う必要があります。 ※募集期間終了間際になると、ハローワークの受付窓口が大変混雑しますので、お早めの受講申込手続きをお勧めします。				
訓練実施施設の見学	可	見学可能日	見学希望者を集めての学校説明会、学校にお越しいただけない方へのZOOM説明会を実施しております。 電話もしくはホームページよりお申込みください。 (訓練施設PR欄の二次元コード参照)		
受講申込書提出場所	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル6階				
選考試験実施日	令和7年6月27日(金)		選考結果発送日	令和7年7月3日(木)	
選考試験実施場所	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル6階				
選考方法	面接のみ		持参する物	筆記用具	

訓練実施施設名	創造社リカレントスクール福岡校		
訓練実施施設の所在地	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル		
電話番号 (お問い合わせ先)	092-401-1835	お問い合わせ担当者	上原・堀江・田中・淡路屋・沼口
駐車場の有無、 台数及び料金	無	最寄駅等	地下鉄 天神駅 徒歩9分 地下鉄 赤坂駅 徒歩10分 西鉄バス 長浜一丁目 徒歩1分
駐輪場の有無、 台数及び料金	無		

訓練施設PR欄（過去の訓練の実績、就職率、就職先、訓練の特徴等）



**未経験からでも
安心して学べる！**

ITSSレベル1の資格の取得を目指す訓練コースとなります。受験は任意となります。

取得目標資格：
Python 3 エンジニア認定基礎試験
※任意受験
DX推進スキル標準対応の訓練コースです

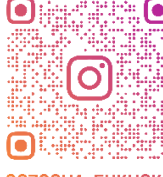
創造社リカレント
スクールのHPIは
こちらから!!!



創造社リカレントスクール
福岡校の修了生の声やコース
紹介動画はコチラ!!!



Instagramでも本校
の情報を発信中!!!



SOZOSHA_FUKUOKA



福岡市地下鉄 空港線 天神駅 西1出口から徒歩9分

※ 一定要件を満たせば、訓練期間中、職業訓練受講給付金（月10万円＋通所手当）が支給されます。詳しくは、住所地を管轄するハローワークにお問い合わせください。

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 株式会社キャリアプログラム

訓練目標 (仕上がり像)		Javaプログラミングだけでなく、Pythonプログラミングも身につけ、業務に必要なデータベースサーバーの構築やソフトウェア開発ができる人材。										
訓練修了後に取得 できる資格		名称(Javaプログラミング能力認定試験 3級)	)認定機関(株式会社 サーティファイ)					☒	任意受験			
		名称(Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE)	)認定機関(Oracle社)					☒	任意受験			
		名称(Python 3 エンジニア認定基礎試験)	)認定機関(一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会)					☒	任意受験			
		名称()	)認定機関()					☐	任意受験			
訓練 内容	訓練概要	コンピュータの基礎知識を学び、Java及びPythonを習得する。基本的データベース構築技術、WEBアプリケーション作成技術を身につける。【IT資格・DSS対応】										
	科目		科目の内容							訓練時間		
	学 科	入校式等	入校式・オリエンテーション(3H)、修了式(3H)									
		ITリテラシー	ハードウェアとソフトウェアの基礎知識							6時間		
		ソフトウェア開発概論	ソフトウェア開発に必要な知識							6時間		
		ネットワーク概論	オフィスネットワークの利用と構築							6時間		
		安全衛生	情報機器作業の留意点と安全衛生							3時間		
		就職支援	ジョブ・カード作成方法・面接の受け方・応募書類の作成方法							18時間		
	実 技	コンピュータ基本操作	①PC起動・終了 ②マウス・キーボード操作 ③ソフトの起動・終了 ④データ保存方法 ⑤代表的なWeb会議ソフトの使用法と操作 ⑥共有データサーバーの活用と留意点 ⑦オフィスソフトの基本操作(Word) ⑧簡単なトラブルシューティング ⑨各種IDやパスワードの管理やアクセス権、添付ファイル付きメール対応等におけるセキュリティ対策 使用ソフト: Word							3時間		
		ITリテラシー実習	①Officeソフトウェアの習得 ②コンソールの使用法、VBAの基本操作(用語(プロパティ、メソッド、オブジェクト等)や画面構成の理解と処理・記述) ③基本的なプログラムの作成(VBAを利用したコマンドプロンプトの起動と実行) 使用ソフト: Excel、Word							30時間		
		Python実習	Python基礎文法とその仕組み(データ構造・検索・並べ替え) 使用ソフト: WinPython							48時間		
		Javaプログラミング(基礎)	対話型アプリケーション制作Ⅰ(①Eclipse、JDKのセットアップと設定 ②JavaSEによるGUIアプリケーションの作成 ③正規表現と文字列操作) 使用ソフト: Eclipse							72時間		
		Javaプログラミング(応用)	対話型アプリケーション制作Ⅱ(①オブジェクト指向によるプログラムの記述 ②Eclipseを使ったデバッグ処理 ③JakartaEEによるGUIアプリケーション作成) 使用ソフト: Eclipse、ApacheTomcat、MySQL							72時間		
		Webプログラミング(基礎)	プログラムを活用したWebページ制作(Webページ作成(HTML)、ページレイアウト作成(CSS)、動的なWebページ作成(JavaScript)) 使用ソフト: VisualStudioCode							24時間		
		Webプログラミング(応用)	CSSフレームワークの活用、WebAPI活用 使用ソフト: VisualStudioCode							42時間		
		データベースプログラミング	データベースサーバーの作成(①データベースの構築 ②テーブルの設計 ③データの投入④データの問い合わせ ⑤複雑なデータの管理) 使用ソフト: MySQL							48時間		
		アプリケーション企画実習	チームによるソフトウェアの企画・設計(①要求分析と設計 ②アプリケーション詳細設計書作成 ③詳細設計書の検証) 使用ソフト: Word、Excel							30時間		
		アプリケーション制作実習	チームによるソフトウェアの制作(①ペアプログラミング ②作成したソフトウェアのテスト計画 ③作成したソフトウェアのシステムテスト ④作成したソフトウェアのメンテナンス) 使用ソフト: Word、Excel、PowerPoint、Eclipse、MySQL、ApacheTomcat							66時間		
		ソフトウェア開発	ソフトウェア開発での周辺技術の習得(①バージョン管理システム ②セキュリティ対策) 使用ソフト: Word、Excel、Eclipse、MySQL、ApacheTomcat							60時間		
	企業実習		☒	実施しない	☐	実施する						
	職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】「雇用情勢と求められる人材」講師未定							6時間		
	訓練時間総合計		540時間	学科	39時間	実技	495時間	企業実習	時間	職場見学等	6時間	
	受講者の負担する費用		教科書代						12,518円		合計	12,518円
			その他()						0円			
			備考()									
	受講生が負担する費用の注意点		受講決定後、7月17日(木)15時までに受講辞退の連絡がない場合は教科書代(12, 518円)を負担して頂きます。									
備考		※ 金額は、すべて税込みです。										

(注1) ハローワークで職業相談を受け、現在有する技能、知識等と労働市場の状況から判断して、就職するための職業訓練を受講することが必要と判断された方に対して、次回の職業相談時に適切な訓練コースの受講申込書が交付されます。(初回の相談時においては、受講申込書は交付されません。)当該受講申込書を募集期間内に訓練実施機関までご提出ください。

(注2) 求職者支援訓練を受講する方は、就職支援措置の実施に当たるハローワーク職員の指導又は指示に従うとともに、自ら進んで、速やかに 職業に就くように努めなければなりません。



ハロトレくん